

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルススポット相場は、レアル売りが対ドルでさらに加速し、一時3.07台までレアル安が進行(終値は3.06台)。堅調な米2月雇用統計がレアル売りに拍車を掛けしており、次の節目として想定している3.10台への到達が早くも見込まれる。注目された米2月雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比29.5万人増と、予想を上回る強い内容(但し、過去2ヶ月分は合計で1.8万人下方修正)。平均時給は前月比0.1%増に留まつものの、失業率は前月の5.7%から5.5%へ低下しており、FOMC参加者が中期的な失業率の均衡水準として想定している5.2-5.5%(2014年12月時点)のレンジに収束した。賃金の伸びが弱く、インフレ圧力が高まっていない点には留意が必要であるが(FRBは利上げの条件として「インフレ見通しに確信を持つこと」を挙げている)、雇用者数の伸びが20万人超を記録したのは2月で12ヶ月連続であり、労働市場は改善傾向にあると素直に判断できよう。次回のFOMCは3月17-18日に開催。今回の数字を受け、フォワード・ガイダンスである「patient(辛抱強く)」が外れる可能性も指摘されており、マーケットでは「6月利上げ」との見方が再び強まっている。

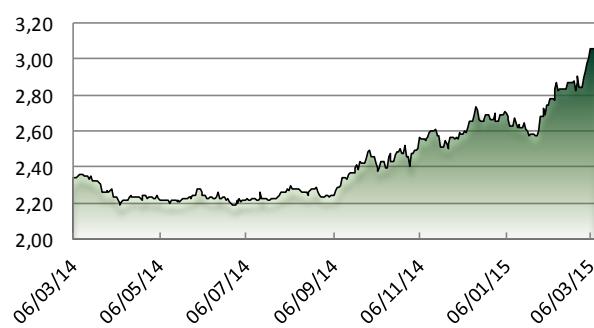
6日に公表された2月IPCAは前年比7.70%と、政府目標上限をさらに超過(1月は7.14%)。加えて、ブラジル議会が緊縮財政策の大統領令を否決するなど、ブラジル経済の見通しはさらに悪化しつつある。強い雇用統計がドル高基調を支えると予想されるため、レアル安が一段と進展する可能性が高い。

マーケットデータ

Indicator	Unit	3月5日	3月6日	前日比	2月6日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	40,01	39,45	-0,56	42,82	-3,37
USD / BRL Spot	BRL	3,0030	3,0640	+0,0610	2,7819	+0,2821
USD / JPY Spot	JPY	120,13	120,83	+0,70	119,12	+1,71
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	50.365	49.981	-384	48.792	+1.189
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	250,6	253,3	+2,7	229,7	+23,6
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,81	12,97	+0,16	12,46	+0,51
DI Future Apr16 (金利先物)	%	13,37	13,57	+0,20	12,85	+0,72
3 Months US Dollar Libor	%	0,264	0,265	+0,001	0,256	+0,009
CRB Index (国際商品指数)	Index	222,1	220,1	-2,0	224,9	-4,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルススポットチャート



レアル円スポットチャート

